

物質番号	物質名	CAS No.
4 参考資料	クレゾール(物質群「フェノール類及びその塩類」の個別物質の例)	1319-77-3

項目		データ等		
性状等	化学式	CH <sub>3</sub> C <sub>6</sub> H <sub>4</sub> OH		
	分子量(式量)	108.1		
	常温での状態	純品は無色の液体(m-)、白色結晶(o-, p-)、いずれも石炭酸(フェノール)のような臭気。		
	融点	29.8℃(オルト体)		
	沸点	191℃(オルト体)		
	水溶解度	9.07 g/L(25 ℃)、推定値		
	その他	アルコール、エーテル、クロロホルムに可溶、水には微溶		
取扱状況	主な用途	消毒剤、合成樹脂、ワニス、TCP(可塑剤)、他		
	製造・輸入量	1万～10万t/年(経産省調査(平成19年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分4	飲み込むと有害
		皮膚腐食性/刺激性	区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分1	重篤な眼の損傷
		生殖細胞変異原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		発がん性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		生殖毒性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分2	水生生物に毒性
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
選定条件の該当状況	法規制等		水道水質基準(水質基準項目)	
	事故の報告事例	例1	倉庫に保管していたクレゾール石鹼(500ml1本)(クレゾール濃度50%)の上に、荷物が落下して瓶上部にひびが入り、そこから少量漏れだした。被害報告はない。	
		例2	フェノール33～43%、o-クレゾール6～16%、m-、p-クレゾール35～45%の混合物を工場敷地内のタンクから運搬用容器へ移し替える作業中に、約200リットルが容器からあふれ、側溝を通じて工場外へ流出した可能性がある。作業中に担当者が現場を離れ、容器が満杯になっていることに気が付かなかったことによる。因果関係は不明であるが、工場下流の水道水から国の基準値を超えるフェノール類が検出され、3,300世帯が11日間にわたり断水した。	
作業委員会における専門家の意見				
その他		毒物及び劇物取締法(劇物) GHS分類対象物質リスト(環境リスク「中」) 要調査項目		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
4 参考資料	o-クレゾール (物質群「フェノール類及びその塩類」の個別物質の例)	95-48-7

項目		データ等		
性状等	化学式	C <sub>7</sub> H <sub>8</sub> O		
	分子量(式量)	108.14		
	常温での状態	純品は白色結晶、石炭酸(フェノール)のような臭気。		
	融点	29.8 °C		
	沸点	191.0 °C		
	水溶解度	25.9g/L(25 °C)		
	その他			
取扱状況	主な用途	エポキシ樹脂、クマリン、潤滑油精製用		
	製造・輸入量	1万～10万t/年(経産省調査(平成19年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分3	飲み込むと有毒
		皮膚腐食性/刺激性	区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分1	重篤な眼の損傷
		生殖細胞変異原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		発がん性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		生殖毒性	区分2	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分2	水生生物に毒性
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
選定条件の該当状況	法規制等	水道水質基準(水質基準項目)		
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		毒物及び劇物取締法(劇物) GHS分類対象物質リスト(環境リスク「高」) 要調査項目		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
5	鉄及びその化合物	—

項目		データ等		
性状等	化学式			
	分子量(式量)			
	常温での状態			
	融点			
	沸点			
	水溶解度			
	その他			
取扱状況	主な用途			
	製造・輸入量			
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	-	-
		皮膚腐食性/刺激性	-	-
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	-	-
		生殖細胞変異原性	-	-
		発がん性	-	-
		生殖毒性	-	-
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	-	-
		水生環境有害性(慢性毒性)	-	-
選定条件の該当状況	法規制等	排水基準(生活環境項目) 水道水質基準(水質基準項目) 事故事例が確認された物質(水質事故)		
	事故の報告事例	例1	バルブ操作の誤りで溶液を運ぶ管から塩化第一鉄溶液が工場内に漏れ、さらに工場内の水抜きバルブが開いていたため谷田川に流入した。被害報告はない。	
		例2	-	
作業委員会における専門家の意見				
その他		毒物及び劇物取締法(劇物) GHS分類対象物質リスト(環境リスク「中」)		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
5 参考資料	酸化鉄(物質群「鉄及びその化合物」の個別物質の例)	1309-37-1

項目		データ等		
性状等	化学式	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>		
	分子量(式量)	159.7		
	常温での状態	赤褐色粉末(六方晶系)		
	融点	1539℃		
	沸点	-		
	水溶解度	500~600 g/L(20℃)		
	その他	水には溶けないが、酸には溶ける		
取扱状況	主な用途	磁性材料(フェライト及び磁気録音録画テープの主原料)、塗料(船底塗料、さび止塗料)、印刷インキ、他		
	製造・輸入量	100万~1000万 t/年(経産省調査(平成19年度))		
	その他			
有害性(CHS分類)	健康	急性毒性(経口)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		皮膚腐食性/刺激性	区分2	皮膚刺激
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分1	重篤な眼の損傷
		生殖細胞変異原性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		発がん性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		生殖毒性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		水生環境有害性(慢性毒性)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
選定条件の該当状況	法規制等	水道水質基準(水質基準項目)		
	事故の報告	例1		
	事例	例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		-		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
5 参考資料	塩化鉄(II)(物質群「鉄及びその化合物」の個別物質の例)	7705-08-0

項目		データ等		
性状等	化学式	FeCl <sub>3</sub>		
	分子量(式量)	162.22		
	常温での状態	(無水物)黒褐色六方晶系結晶		
	融点	307.6 °C		
	沸点	～316 °C		
	水溶解度	91.2 g/100mL(25°C)		
	その他	水、アルコール、エーテルに可溶。		
取扱状況	主な用途	プリント配線・ネームプレート・シャドーマスク(金属板腐食液)、他		
	製造・輸入量	10万～100万t/年(経産省調査(平成19年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分4	飲み込むと有害
		皮膚腐食性/刺激性	区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分1	重篤な眼の損傷
		生殖細胞変異原性	区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い
		発がん性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		生殖毒性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分2	水生生物に毒性
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分2	長期的影響により水生生物に毒性
選定条件の該当状況	法規制等	水道水質基準(水質基準項目)		
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		GHS分類対象物質リスト(環境リスク「中」)		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
5 参考資料	鉄カルボニル(物質群「鉄及びその化合物」の個別物質の例)	13463-40-6

項目		データ等		
性状等	化学式	C <sub>5</sub> FeO <sub>5</sub>		
	分子量(式量)	195.9		
	常温での状態	無色または黄色の粘稠液体		
	融点	-20 °C		
	沸点	103°C		
	水溶解度	100mg/L(24°C)		
	その他	引火性が高い		
取扱状況	主な用途	カルボニル鉄製造原料, 触媒, 純鉄原料		
	製造・輸入量			
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分2	飲み込むと生命に危険
		皮膚腐食性/刺激性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		生殖細胞変異原性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		発がん性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖毒性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
選定条件の該当状況	法規制等	水道水質基準(水質基準項目)		
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		-		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
6	クロム及びその化合物(6価クロム化合物を除く)	—

項目		データ等		
性状等	化学式			
	分子量(式量)			
	常温での状態			
	融点			
	沸点			
	水溶解度			
	その他			
取扱状況	主な用途			
	製造・輸入量			
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	-	-
		皮膚腐食性/刺激性	-	-
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	-	-
		生殖細胞変異原性	-	-
		発がん性	-	-
		生殖毒性	-	-
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	-	-
		水生環境有害性(慢性毒性)	-	-
選定条件の該当状況	法規制等	排水基準(生活環境項目)		
	事故の報告	例1		
	事例	例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		毒物及び劇物取締法(劇物) 要調査項目		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
6 参考資料	クロム(物質群「クロム及びその化合物(6価クロム化合物を除く)」の個別物質の例)	7440-47-3

項目		データ等		
性状等	化学式	Cr		
	分子量(式量)	52		
	常温での状態	固体		
	融点	1900℃		
	沸点	2642℃		
	水溶解度	86.7g/L(25℃)、推定値		
	その他			
取扱状況	主な用途	合金, 特殊鋼原料, 防錆, メッキ用		
	製造・輸入量	3800t/年 (化学商品(2007年の輸入量(塊, 粉)))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		皮膚腐食性/刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2	強い眼刺激
		生殖細胞変異原性	区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い
		発がん性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		生殖毒性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		水生環境有害性(慢性毒性)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
選定条件の該当状況	法規制等	-		
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		要調査項目		

備考	
----	--



物質番号	物質名	CAS No.
7	1,4-ジオキサン	123-91-1

項目		データ等		
性状等	化学式	C <sub>4</sub> H <sub>8</sub> O <sub>2</sub>		
	分子量(式量)	88.11		
	常温での状態	臭気のある無色の液体		
	融点	11.8℃		
	沸点	101.5℃		
	水溶解度	1000g/L(20℃)、実測値		
	その他	酸化剤、強酸と反応する		
取扱状況	主な用途	洗浄剤、合成皮革用、反応用の溶剤、塩素系溶剤、医薬品用、農薬用		
	製造・輸入量	5300t/年（化審法届出(平成20年度)）		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		皮膚腐食性/刺激性	区分2	皮膚刺激
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2	強い眼刺激
		生殖細胞変異原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		発がん性	区分2	発がんのおそれの疑い
		生殖毒性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
選定条件の該当状況	法規制等		水質環境基準(健康項目) 水道水質基準(水質基準項目) 事故事例が確認された物質(水質事故)	
	事故の報告事例	例1	京都府の簡易水道の浄水場における定期水質検査で、1,4-ジオキサンが水質基準(0.05mg/L)を超えて検出(0.076mg/L)されたため、一時的に取水と給水が停止された。健康被害の報告はなかった。流域の廃棄物処理施設で使用していたメタノール運搬用タンクローリーの洗浄に使用された1,4-ジオキサンが残留したままだったことが原因と推定される。	
		例2	大阪府の浄水場の原水等において1,4-ジオキサンが検出されたため、取水を一時停止するなどの措置を行った。原因は不明である。	
作業委員会における専門家の意見				
その他		-		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
8	トランス-1,2-ジクロロエチレン	156-60-5

項目		データ等		
性状等	化学式	C <sub>2</sub> H <sub>2</sub> Cl <sub>2</sub>		
	分子量(式量)	96.94		
	常温での状態	無色の液体		
	融点	-49.8℃		
	沸点	48.7℃		
	水溶解度	4.52g/L(25℃)、実測値		
	その他			
取扱状況	主な用途	溶剤, 塩素系溶剤原料		
	製造・輸入量	100t/年 未満 (化審法届出(平成 20 年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分4	飲み込むと有害
		皮膚腐食性/刺激性	区分2	皮膚刺激
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2	強い眼刺激
		生殖細胞変異原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		発がん性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖毒性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
選定条件の該当状況	法規制等	環境基準(地下水環境基準項目) 要監視項目 水道水質基準(水質基準項目)		
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		-		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
9	塩化ビニルモノマー	75-01-4

項目		データ等		
性状等	化学式	C <sub>2</sub> H <sub>3</sub> Cl		
	分子量(式量)	62.5		
	常温での状態	無色の気体		
	融点	-153.7℃		
	沸点	-13.3℃		
	水溶解度	8.8g/L(25℃)、実測値		
	その他			
取扱状況	主な用途	ポリ塩化ビニル、塩化ビニル-酢酸ビニル共重合体、塩化ビニリデン-塩化ビニル共重合体の合成		
	製造・輸入量	240 万 t/年 (化審法届出(平成 20 年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		皮膚腐食性/刺激性	区分2	皮膚刺激
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2	強い眼刺激
		生殖細胞変異原性	区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い
		発がん性	区分1	発がんのおそれ
		生殖毒性	区分2	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分3	水生生物に有害
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分3	長期的影響により水生生物に有害
選定条件の該当状況	法規制等	要監視項目		
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		水道水質基準(要検討項目)		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
10	クロロホルム	67-66-3

項目		データ等		
性状等	化学式	CHCl <sub>3</sub>		
	分子量(式量)	119.38		
	常温での状態	無色透明の液体		
	融点	-63.6℃		
	沸点	61.1℃		
	水溶解度	7.95g/L(25℃)、実測値		
	その他	光や酸その存在下で比較的容易に分解		
取扱状況	主な用途	フッ素系冷媒、フッ素樹脂の製造、溶剤(ゴム、グッタペルカ、鉱油、他)、有機合成、他		
	製造・輸入量	4.3 万 t/年 (化審法届出(平成 20 年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分4	飲み込むと有害
		皮膚腐食性/刺激性	区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分1	重篤な眼の損傷
		生殖細胞変異原性	区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い
		発がん性	区分2	発がんのおそれの疑い
		生殖毒性	区分2	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分2	水生生物に毒性
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分2	長期的影響により水生生物に毒性
選定条件の該当状況	法規制等		要監視項目 水道水質基準(水質基準項目) 事故事例が確認された物質(水質事故)	
	事故の報告事例	例1	樹脂製造工程の反応タンクのコンデンサーが破断し、ポリプロピレンを含有したクロロホルム約50kgが噴出した。クロロホルムは揮散し、樹脂は周辺に飛散した。被害は特になし。	
		例2	貯蔵タンク(498立方メートル)から、タンク基礎部のアスファルトに流出した。(流出量は不明。)被害は特になし。	
作業委員会における専門家の意見				
その他		GHS分類対象物質リスト(環境リスク「中」)		

備考	「トリハロメタン」のうち、当該物質のみ一括指定はせず、別掲する。
----	----------------------------------

物質番号	物質名	CAS No.
11	トルエン	108-88-3

項目		データ等		
性状等	化学式	C <sub>7</sub> H <sub>8</sub>		
	分子量(式量)	92.14		
	常温での状態	無色透明の液体。		
	融点	-94.9℃		
	沸点	110.6℃		
	水溶解度	0.526 g/L(25℃)、実測値		
	その他	水に不溶、ベンゼン、アルコール、エーテルによく溶ける。		
取扱状況	主な用途	染料、香料、火薬(TNT)、有機顔料、合成クレゾール、甘味料、漂白剤、他		
	製造・輸入量	100万～1000万t/年(経産省調査(平成19年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分5	飲み込むと有害のおそれ
		皮膚腐食性/刺激性	区分2	皮膚刺激
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2	強い眼刺激
		生殖細胞変異原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		発がん性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		生殖毒性	区分1	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分2	水生生物に毒性
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
選定条件の該当状況	法規制等	要監視項目 水道水質基準(水質管理目標設定項目) 事故事例が確認された物質(水質事故)		
	事故の報告事例	例1	トルエン還流作業中に作業者のミスにより突沸し、約500Lが流出した。作業員3名がトルエンガスを吸入し、病院に運ばれた。河川流出の状況は不明。	
		例2	工場内配管から配管劣化のためトルエン(99.8%)約200Lが漏洩した。被害は特になし。	
作業委員会における専門家の意見				
その他		毒物及び劇物取締法(劇物) 悪臭防止法(特定悪臭物質)		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
12	イソキサチオン	18854-01-8

項目		データ等		
性状等	化学式	C <sub>13</sub> H <sub>16</sub> NO <sub>4</sub> PS		
	分子量(式量)	313.31		
	常温での状態	黄色の液体		
	融点	< 25℃		
	沸点	160℃		
	水溶解度	1.9 mg/L(25℃)、実測値		
	その他			
取扱状況	主な用途	農薬(殺虫剤)		
	製造・輸入量	74t/年 (農薬推計値(平成 20 年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分3	飲み込むと有毒
		皮膚腐食性/刺激性	区分3	軽度の皮膚刺激
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2	強い眼刺激
		生殖細胞変異原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		発がん性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		生殖毒性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分1	水生生物に非常に強い毒性
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
選定条件の該当状況	法規制等		要監視項目 水道水質基準(水質管理目標設定項目)	
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他			毒物及び劇物取締法(劇物)	

備考	要監視項目に該当する農薬
----	--------------

物質番号	物質名	CAS No.
13	ダイアジノン	333-41-5

項目		データ等		
性状等	化学式	C <sub>12</sub> H <sub>21</sub> N <sub>2</sub> O <sub>3</sub> PS		
	分子量(式量)	304.35		
	常温での状態	無色の油状液体		
	融点	< 25℃		
	沸点	125℃(分解)		
	水溶解度	40 mg/L(25℃)、実測値		
	その他			
取扱状況	主な用途	農薬(殺虫剤)		
	製造・輸入量	100t/年 未満 (化審法届出(平成 20 年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分4	飲み込むと有害
		皮膚腐食性/刺激性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		生殖細胞変異原性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		発がん性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		生殖毒性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分1	水生生物に非常に強い毒性
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
選定条件の該当状況	法規制等		要監視項目 水道水質基準(水質管理目標設定項目)	
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他			毒物及び劇物取締法(劇物)	

備考	要監視項目に該当する農薬
----	--------------

物質番号	物質名	CAS No.
14	アンチモン及びその化合物	—

項目		データ等		
性状等	化学式			
	分子量(式量)			
	常温での状態			
	融点			
	沸点			
	水溶解度			
	その他			
取扱状況	主な用途			
	製造・輸入量			
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	-	-
		皮膚腐食性/刺激性	-	-
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	-	-
		生殖細胞変異原性	-	-
		発がん性	-	-
		生殖毒性	-	-
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	-	-
		水生環境有害性(慢性毒性)	-	-
選定条件の該当状況	法規制等		要監視項目 水道水質基準(水質管理目標設定項目)	
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他			毒物及び劇物取締法(劇物) バーゼル条約(附属書 I 掲載物質)	

備考	
----	--